

会 議 記 録			
会議の名称	決算特別委員会（全体会）		会議場所 全員協議会室 担当職員 加藤 太郎
日 時	令和4年9月22日（木曜日）		開 議 午前11時30分 閉 議 午後 1時44分
出席委員	◎山本 ○浅田（総務文教分科会委員長） 長澤（環境市民厚生分科会委員長）、赤坂（産業建設分科会委員長） 三上 富谷 大塚 平本 田中 並河 木村 三宅 松山 小川 奥野 藤本 木曾 齊藤 西口 菱田 石野 <福井議長、竹田（監査委員）>		
執行機関 出席者			
事務局 出席者	井上事務局長、数井次長、野澤副課長兼総務係長、加藤副課長兼議事調査係長、 佐藤主任、小野主任		
傍 聴	可	市民1名	報道関係者1名 議員0名（-）

会 議 の 概 要

11:30

1 開 議

[山本委員長 開議]

[事務局長 説明]

2 決算審査

（1）分科会委員長報告（報告、質疑）

[浅田副委員長（総務文教分科会委員長） 報告]

<木曾委員>

ガレリアかめおかの運営管理については、毎年約2億円の委託料がないと経営できない状況で深刻な問題があり、長寿命化対策として令和41年度までに120億円ぐらいの修繕費用もかかるといった内容が議論されているが、もう少し詳しく聞きたい。

<浅田副委員長（総務文教分科会委員長）>

依然として毎年2億円を超える業務委託料を支出しなければならない運営であり、コロナ禍のこともあってさらに委託料増になってきている。所管からは、なかなか運営と収支のバランスが取れない現状であるために、そこにまだ2億円を補填していく必要があるとのことであった。

<木曾委員>

コロナで経営が悪くなったので、2億円を入れているということか。

<浅田副委員長（総務文教分科会委員長）>

コロナだけが問題ではないと思うが、職員人件費等で収支のバランスがなかなか取れていけない中で、コロナ禍となった過去2年間も収支のバランスは取れていない状況である。

<木曾委員>

コロナで大きな赤字があったとの報告があったが、コロナ前と後でどのぐらいの運営経費であったのか。コロナ前後のおおよその差だけでも分からないか。

<浅田副委員長（総務文教分科会委員長）>

大体3,000万円から4,000万円くらいであったと思う。

<木曾委員>

そのような状況もある中で、「ガレリアかめおかの今後の在り方については、市全体で調査・検討されたい」とくくられており、財政などいろいろなことがあると思うが、どのような議論があったのか。

<浅田副委員長（総務文教分科会委員長）>

「市全体で調査・検討されたい」とのことも含めてであるが、今は設計段階に入っているとの報告も受けている。例えば10億円かかる見積もりを圧縮して、経費を抑えるようなことも検討しているとの答弁もあった。そのようなことで「市全体で調査・検討されたい」とくくっており、今後できるだけ経費をかけていかないような手法で市として執行されていくのではないかと感じている。

<木曾委員>

長寿命化対策として令和41年度までに120億円をかけていかなければならないとの前段もあるので、やはりこれは経費を随分見直していかなければとんでもないことになってしまうとの議論があったと認識してよいか。

<浅田副委員長（総務文教分科会委員長）>

長寿命化対策で令和41年度までに120億円かかるといった概算費用が出ている中で、120億円はすごく大きな金額になるが、そこは今後できるだけ圧縮するような考えで施策がとられていくと感じている。

<藤本委員>

ガレリアかめおかの運営管理については、コロナ禍になる前から2億円ほどの経費がかかっているが、人件費の割合が大きいのではないか。運営経費のうち人件費の割合はどのくらいか把握しているか。

<浅田副委員長（総務文教分科会委員長）>

詳細な金額は今分からないが、5割弱くらいであったと思う。

[長澤環境市民厚生分科会委員長 報告]

[質疑なし]

[赤坂産業建設分科会委員長 報告]

[質疑なし]

(2) 事務事業評価（分科会）の結果（質疑）

<山本委員長>

各分科会の事務事業評価結果は、お手元に配付した資料のとおりである。質疑はないか。

[質疑なし]

(3) 委員間討議

<山本委員長>

委員間討議を実施するかお諮りする。意見はないか。

[意見なし]

<山本委員長>

委員間討議まで進めさせていただいた。ここで休憩を入れ、その間に会派会議を行っていただく。休憩後は討論、採決を行い、指摘要望についても協議する。また、事務事業評価についても、決算特別委員会全体会の結果とするための協議をするのでよろしく願います。再開時刻は、午後1時30分とする。

12:02

[休憩 会派会議]

13:30

(4) 討論

<三上委員>

共産党議員団を代表して、第12号議案令和3年度亀岡市一般会計決算認定について、反対の立場で討論する。詳しくは本会議で申し述べるが、予算案のときから反対してきた内容についての執行で、税金の使い方としてこれでよいのかとの疑義が残るので反対する。

<赤坂産業建設分科会委員長>

緑風会を代表して、第12号議案令和3年度亀岡市一般会計決算認定について、賛成の立場で討論する。指摘要望等もあるので本会議で述べさせていただく。

<平本委員>

新清流会を代表して、第12号議案令和3年度亀岡市一般会計決算認定について、賛成の立場で討論する。コロナ禍で大変難しい事業推進が迫られる中、例えば新たな事業としてこども宅食事業において延べ1,533人の利用者実績が生まれるなど、着実に子育て環境整備等をはじめ、適切な事業執行がされている。詳しくは本会議で述べさせていただく。

<富谷委員>

公明党議員団を代表して、第12号議案令和3年度亀岡市一般会計決算認定について、賛成の立場で討論する。今回の決算においては、長引くコロナ禍においても実質収支が17億8,400万円の黒字となり、財政調整基金も積み増しとなる健全財政であり、また、その財源において有効活用された決算であると評価する。詳しくは本会議で述べさせていただく。

(5) 採決

第12号議案	令和3年度一般会計決算認定について (反対：長澤、三上、田中、並河)	賛成多数
第13号議案	令和3年度国民健康保険事業特別会計決算認定について	全員賛成
第14号議案	令和3年度休日診療事業特別会計決算認定について	全員賛成
第15号議案	令和3年度介護保険事業特別会計決算認定について	全員賛成
第16号議案	令和3年度後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	全員賛成
第17号議案	令和3年度土地取得事業特別会計決算認定について	全員賛成
第18号議案	令和3年度曾我部山林事業特別会計決算認定について	全員賛成
第19号議案	令和3年度水道事業会計決算認定について	全員賛成
第20号議案	令和3年度下水道事業会計決算認定について	全員賛成

第21号議案 令和3年度病院事業会計決算認定について	全員賛成
第22～51号議案	
令和3年度亀岡財産区ほか29財産区会計決算認定について	全員賛成
第54号議案	
令和3年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	全員賛成
第55号議案	
令和3年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	全員賛成

<山本委員長>

令和3年度一般会計、企業会計及び特別会計の決算関係議案については、全て認定・可決すべきものと決定した。

(6) 指摘要望

<山本委員長>

分科会から出た指摘要望事項はお手元に配付した資料のとおりである。この指摘要望事項を全体会の指摘要望事項として取り扱うことに意見はないか。

[意見なし]

<山本委員長>

意見がないので、これを決算特別委員会全体会の指摘要望事項とする。

(7) 事務事業評価（全体会）の決定

<山本川委員長>

各分科会の事務事業評価結果を決算特別委員会全体会の事務事業評価結果として取り扱うことに意見はないか。

[意見なし]

<山本委員長>

意見がないので、これを決算特別委員会全体会の事務事業評価結果とする。

3 その他

(1) 決算特別委員会委員長報告について

<山本委員長>

決算特別委員会委員長報告については、本日の全体会冒頭に各分科会委員長から報告いただいた内容をもとに、決算特別委員会正副委員長と各分科会委員長との協議により、決算特別委員会全体会の委員長報告として、9月28日の本会議において報告することとしたいが、特に委員長報告に盛り込むべきことはあるか。

[意見なし]

<山本委員長>

意見がないので、正副委員長及び分科会委員長に一任願う。

—全員了—

(2) 議会だよりについて

<山本委員長>

議会だよりの記事については、決算特別委員会正副委員長及び分科会委員長に一任願う。

—全員了—

[浅田副委員長（総務文教分科会委員長） あいさつ]

[福井議長 あいさつ]

[事務局長 以後の会議予定説明]

<山本委員長>

これをもって決算特別委員会を閉じ、散会とする。

散会 13:44